

第4回京都腎臓病療養指導士認定試験対策講習会 2024 結果報告

■実施日時:2024 年 1 月 13 日(土) 14:00~16:30

■開催形式:zoom オンライン

■参加者:51 名

■講師:各 30 分

京都済生会病院 腎臓内科 原 将之 先生 医師

市立福知山市民病院 腎臓内科 金森 弘志 先生 医師

京都第一赤十字病院 杉山 晶 先生 看護師

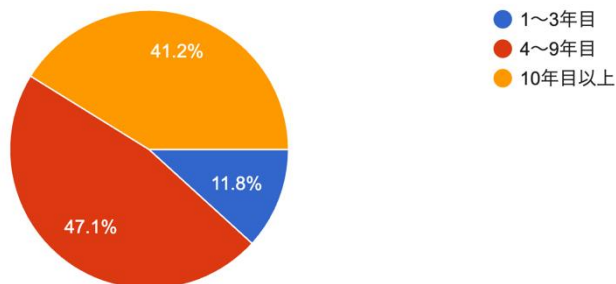
(元)京都桂病院 小垣 真子 先生 管理栄養士

フロンティア薬局滋賀医大店 蓑輪 圭一郎 先生 薬剤師

■アンケート:回収 34 名

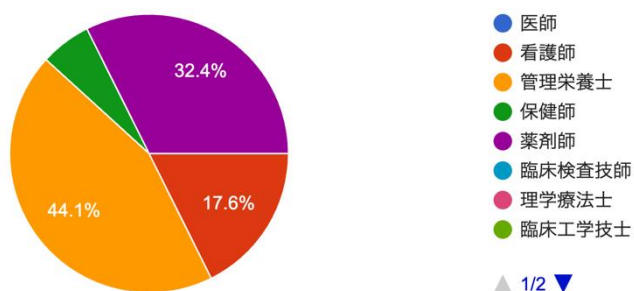
実務経験年数

34 件の回答



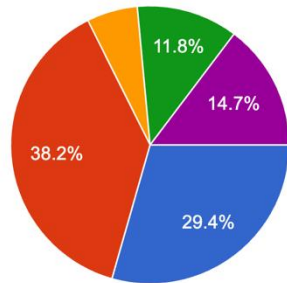
職種

34 件の回答



CKDE認定試験の受験予定

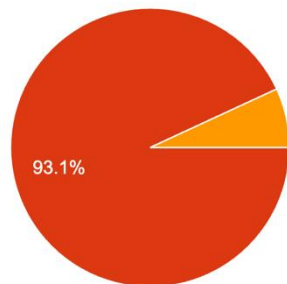
34 件の回答



- 2023年度(今年)受験予定
- 2024年度(来年度)以降受験予定
- 受験予定はない
- 受験資格なし
- 取得済み

試験対策としての研修会の開催時期に関して

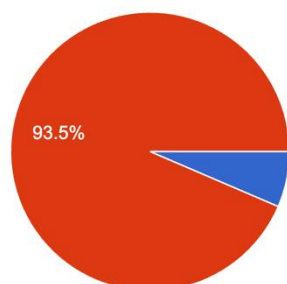
29 件の回答



- 早過ぎる
- 適切
- 遅過ぎる

研修会の時間について

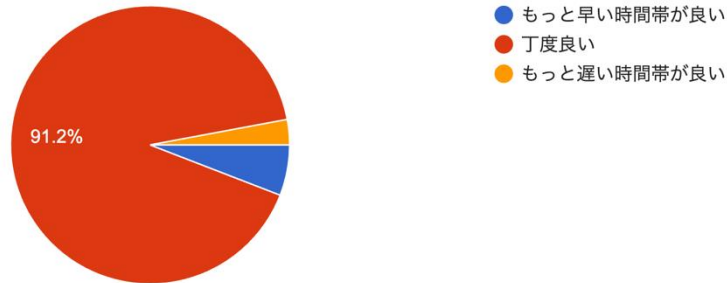
31 件の回答



- 長い
- 丁度良い
- 短い

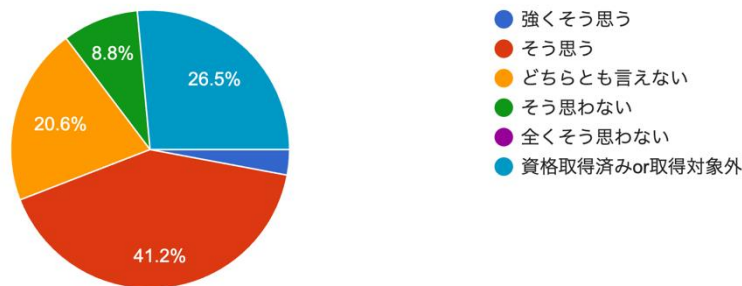
開始時間について:開始時間は適切だったか？

34 件の回答



研修を経て、腎臓病療養指導士資格取得へ自信がついたでしょうか？

34 件の回答



→6割(15/25)の方が資格取得へ自信がついたと回答

■全体を通して、今後活かせると感じた事等、感想をご記入ください。

16 件の回答

過去問がなくテキストだけでは勉強しにくいのでこうした講習会でイメージが付きやすい

実際に試験を受けられた方が講師をされるので、わかりやすいです。

とても貴重な勉強会をありがとうございました。来年度の受験を考えておりますが、準備の勉強で得られる知識もまた日々の患者さんのために有意義な知識ととても思いました。今後ともよろしく願いいたします。

栄養や薬剤がネックになりそうです。改めて来年の受験に向けて頑張ります。

12月にごろにしていただけると、抑えないといけないポイントが理解しやすくさらに知識をつけることができるのではないかと思います。今から覚えるのは大変ですがなんとかやれるところまで頑張りたいと思います。

日々の業務に活かしていきたいと感じました。そして、まだまだ勉強不足を感じました。今日の内容を整理して知識を深めていきたいです。

試験対策として、具体的だった

糖尿病性腎症の重症化予防において大変勉強になりました。ありがとうございました。

テキストに載っていない情報もテストに出題されるということで、かなり不安になりましたが(テストの出題形式など情報がないので受験者はわからず!)直前でもまだ暗記に間に合いますので試験対策ができると思います、ありがとうございました。

資格取得済の薬剤師ですが、療養や栄養のことも患者さんからとてもよく聞かれます。良い復習になりました。ありがとうございました。

受験予定はありませんが、今後、対象者の方への指導に役立てていきたいと思っています。また、さらに理解を深めていきたいと改めて感じました。

出題レベルや、どのような問題が出るのかを把握できた。覚えるべきポイントが分かり良かったです。ありがとうございました。もう少し早い時期に開催して頂けると試験勉強の計画が立てやすいと思います。

本日は、貴重な会を設けていただきありがとうございました。腎臓病療養指導士に興味があり、県外の者ですが受けさせてくださいました。今年度は受ける予定がなく、まずはどんな感じなのかを知るために受けさせてくださいました。各分野から、色々な問題がでることがわかりました。覚えなきゃいけないこともたくさんあることがわかりました。参考テキストや書籍も教えていただきありがとうございました。大変参考になりました。

来年受けようと思っています。どんな問題が出るのか、どういうところに的を絞って勉強すればよいのか雰囲気をつかむことができました。貴重なご講演ありがとうございました。

原先生にCKD重症度分類の時計での覚え方を教えて頂き、とてもよかったです。

本日は貴重なご講演をいただきありがとうございました。講習を受け基礎的～発展した内容まで学ぶことができ、取得済みの先輩方、先生方のお話も拝聴し大変ありがたい機会でした。

■今後、京都腎臓病療養指導士会や、腎臓病療養指導士の資格を活かしてできる企画や活動、イベントについてどのような事ができるか皆様のアイデアをお聞かせください。

4 件の回答

若い世代から知ってもらう機会を作るのはどうでしょうか。そうすることで、祖父母に話しが広がったりすることもあるかもしれません。

CKD や eGFR を知ってもらう市民公開講座を府内各地で行ったり、ポスターを作る。蛋白尿の検査から受診につなげるような健康イベント(CKD 啓発)ができればいいと思いました。

療養指導士の方、目指している方など、今回のような機会が増えれば幸いです。相談カフェブースのようなフェアや、症例共有などの勉強会などがあればいいなと思います。

以上